



谷口 元城

12月13、14日の2日間、呼吸器内科のポリクリとして国立病院機構和歌山病院で実習をさせていただきました。この実習を通して大きく2つの事を学びました。1つ目は、和歌山県立医科大学付属病院には存在しない「結核病棟」を実習させて頂いたことです。結核に対する対策（陰圧管理など）を実際の目を見て、肌で感じることで机上の勉強では得難いものを得ることが出来ました。2つ目は、画像の基本である「胸部 X 線の読み方」を教えて頂いたことです。日頃実習を通して多くのレントゲンを見させて頂くのですが、自分の見方に多くの抜けている部分がある事に気づくことが出来ました。異常ばかりを勉強していたのですが、この画像が正常であるということを見極めることがとても重要であると感じました。

今回の実習では、南方院長、駿田副院長をはじめ、多くのスタッフの方々にお世話になり、大変充実した2日間となりました。ご指導くださった先生方、スタッフの方々本当にありがとうございました。